販売用資料
2020年10月

レバレッジを活用した投資

iFreeレバレッジ

iFreeレバレッジ S&P500
iFreeレバレッジ NASDAQ100
iFreeレバレッジ FANG+

追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）

※お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

目論見書のご請求・お申込みは…

フィデリティ証券

〈販売会社〉

商 号 等　フィデリティ証券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第152号
加入協会　日本証券業協会

設定・運用は…

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商 号 等　大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第352号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

iFreeレバレッジとは…

レバレッジを活用して高いリターンの獲得をめざすファンドシリーズ
長期の積立投資にもご活用いただけます。

今回は＜S&P500指数＞＜NASDAQ100指数＞＜FANG+指数＞を対象にした
レバレッジ型ファンドをご案内します。

レバレッジ型ファンドの値動きは、一般的に通常のインデックスファンドに比べて大きく、
また特有の傾向*があります。 ＊くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「追加的記載事項」をご覧ください。
①ファンド保有期間が2日以上の場合の投資成果は、通常「2倍程度」になるわけではありません。
②一般に指数が上昇・下落をしながら動いた場合には、基準価額は押し下げられることになります。

これらの特性を十分にご理解のお客さまの資産運用、資産形成の一助となれば幸いです。

世界から注目される 米国株価指数

S＆P500指数

米国株式市場の動向を表す指数
ニューヨーク証券取引所、
NASDAQに上場している
代表的な大型株500銘柄から
構成される指数

NASDAQ100指数

米国のベンチャー企業向け
株式市場で成長後も上場を
続ける企業が多いNASDAQの
中から時価総額の大きい非金融業
100銘柄から構成される指数

FANG+指数

現代社会において人々の生活に大きな影響力を持ち、高い知名度を有する米国上場企業10銘柄*から構成される指数

＊銘柄数は固定ではありません。

（2014年9月19日～2020年9月30日）



（出所）各種資料、ブルームバーグ



iFreeレバレッジ S&P500

追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）

レバレッジ２倍× S&P500

米国を代表する株価指数であるS&P500指数を対象にしたレバレッジ型ファンド

S&P500とは

ニューヨーク証券取引所、NASDAQに上場している銘柄から
代表的な大型株500銘柄の株価を基に算出される時価総額加重平均株価指数

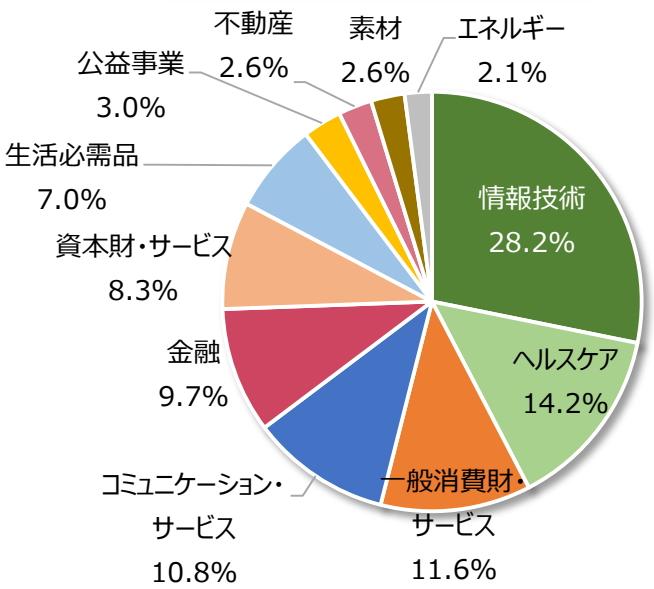
世界の機関投資家の運用実績を測定するベンチマークとして幅広く採用されています。

業種分散が考慮され米国市場全体を代表！
各産業を代表するグローバル企業が多く含まれています。

米国株式市場の時価総額の

約 **80%** をカバーしています。

産業分類別構成比率



※2020年9月末時点の時価総額ベース
※GICSによる産業分類
※四捨五入の関係で合計が100%とならない場合があります。

（出所）S&Pダウジョーンズ

iFreeレバレッジ

iFreeレバレッジ S&P500

追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）

ファンドの目的

日々の基準価額の値動きがS&P500指数（米ドルベース）の値動きの**２倍程度**となることをめざします。

ファンドの特色

株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として信託財産の純資産総額の２倍程度になるように調整します。

◆為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

※ ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※ 為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

◆外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。

※日々の基準価額の値動きは、米国の株式市場の値動きの「ちょうど2倍」になるとはかぎりません。
くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「追加的記載事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額の推移



※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。
※参考指数（S&P500指数）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。参考指数は、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。
※資料作成時点において、分配実績はありません。

iFreeレバレッジ NASDAQ100

追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）



レバレッジ2倍 × NASDAQ100

米国のNASDAQ100指数を対象にしたレバレッジ型ファンド

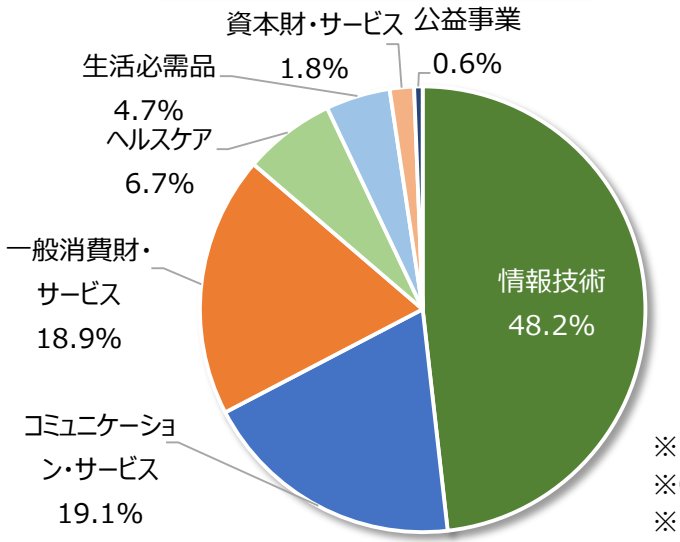
NASDAQ100とは

NASDAQに上場している
時価総額*の大きい非金融業100社で構成される株価指数*です。

*対象銘柄には、米国以外の企業の株式を含みます。指数の計算方法は、調整済時価総額加重平均方式です。

構成銘柄数は少ないものの、NASDAQでは存在感の大きい企業で
構成されている指数です。

産業分類別構成比率



※2020年9月末時点の時価総額ベース
※GICSによる産業分類
※四捨五入の関係で合計が100%とならない場合があります。



将来への高い期待！世界のイノベーションを
牽引する企業が多く含まれています。

米国のNASDAQ市場の時価総額の

約 **76%** をカバーしています。

（出所）NASDAQ

iFreeレバレッジ NASDAQ100

追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）



ファンドの目的

日々の基準価額の値動きがNASDAQ100指数（米ドルベース）の値動きの**２倍程度**となることをめざします。

ファンドの特色

株式の組入総額と株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、原則として信託財産の純資産総額の２倍程度になるように調整します。

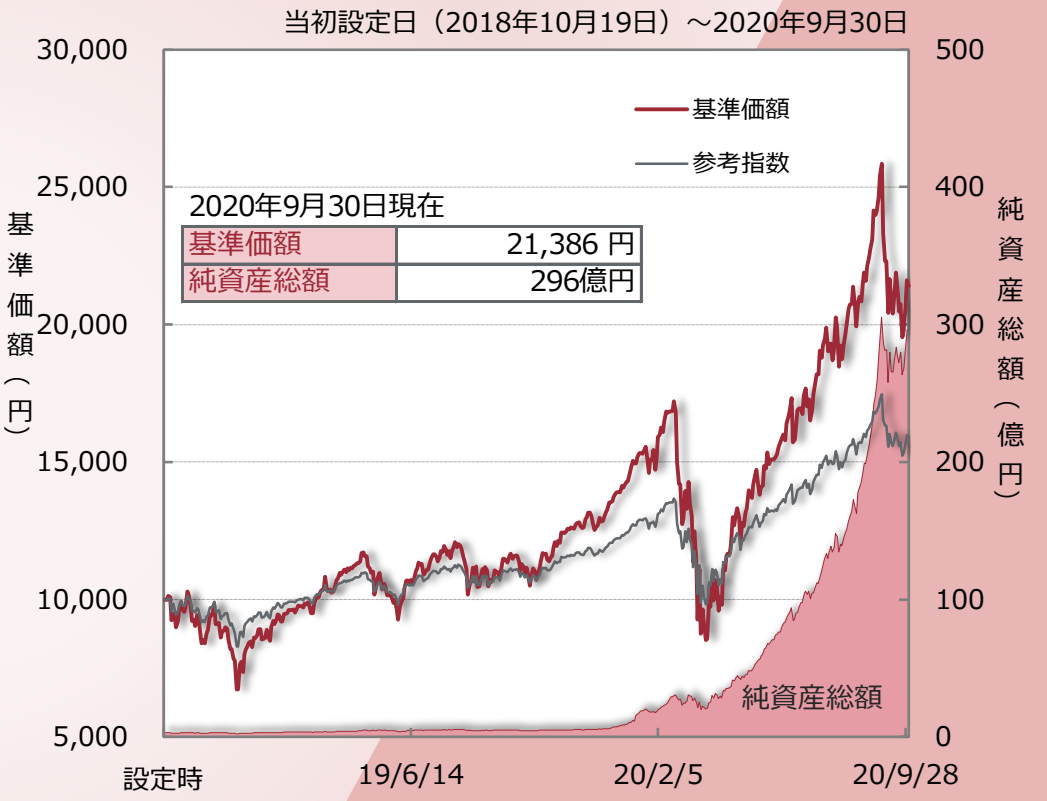
◆為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

※ ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
※ 為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコスト となり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

◆外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。

※ 日々の基準価額の値動きは、米国の株式市場の値動きの「ちょうど2倍」になるとはかぎりません。
くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「追加的記載事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額の推移



※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。
※参考指数（NASDAQ100指数）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。参考指数は、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。
※資料作成時点において、分配実績はありません。

iFreeレバレッジ FANG+

追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）

レバレッジ2倍 × FANG+

米国のFANG+指数を対象にしたレバレッジ型ファンド

FANG+とは

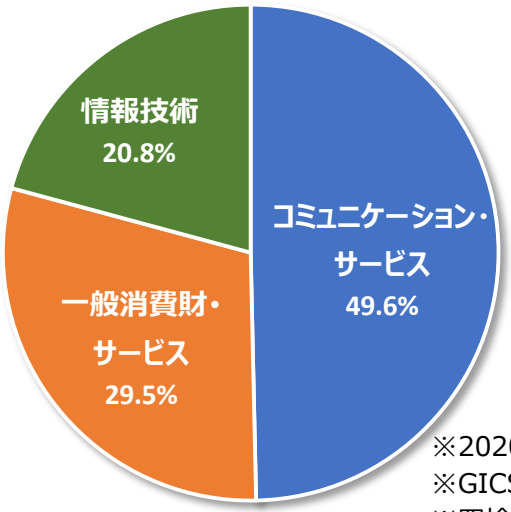
世界をリードする10銘柄*に等金額投資したポートフォリオで構成された株価指数です。

次世代テクノロジーをベースに、グローバルな現代社会において人々の生活に大きな影響力を持ち、**高い知名度を有する米国上場企業を対象**に構成されています。

＊銘柄数は固定ではありません。

構成銘柄数は少ないものの、投資家によく知られた高成長が期待できる企業へ集約して投資を行なうことが可能です。

業種別構成比率



※2020年9月末時点の時価総額ベース
※GICSによる産業分類
※四捨五入の関係で合計が100%とならない場合があります。

FANG企業

Facebook　Amazon
Netflix　Google

＋

プラス企業

Apple　NVIDIA
Baidu　Twitter
Alibaba　Tesla

※個別企業の推奨を目的とするものではありません。

（出所）ブルームバーグ

iFreeレバレッジ FANG+

追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）

ファンドの目的

日々の基準価額の値動きがNYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの**２倍程度**となることをめざします。

ファンドの特色

米国の営業日においてNYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの2倍程度となるための調整を行なうこととします。
そのため、日本の休業日前後の基準価額の値動きが、NYSE FANG+指数（米ドルベース）の値動きの2倍から乖離する場合があります。

以下の投資対象から流動性等を考慮してその配分比率を決定します。

- パフォーマンス連動債券
- ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券
- 米国の株価指数先物取引

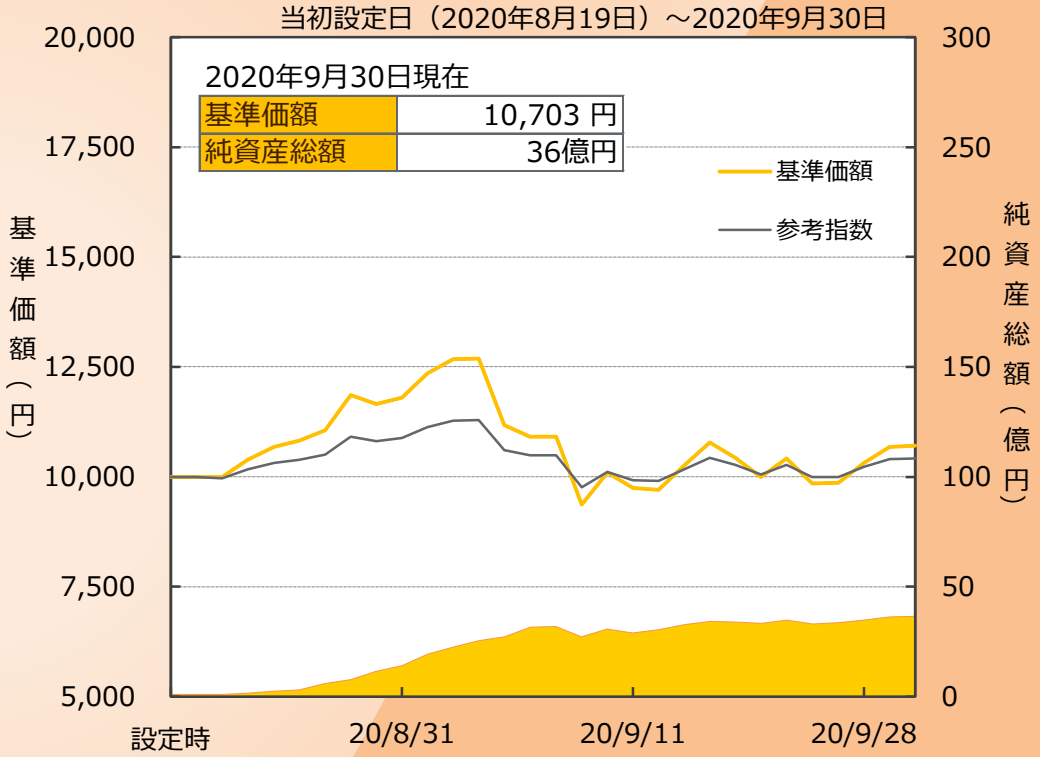
※ 上記投資対象以外に、上記投資対象と同様の投資成果が期待できる資産を組み入れることがあります。
※ 外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託することがあります。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※ 日々の基準価額の値動きは、対象指数の値動きの「ちょうど２倍」になるとはかぎりません。
くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「追加的記載事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額の推移

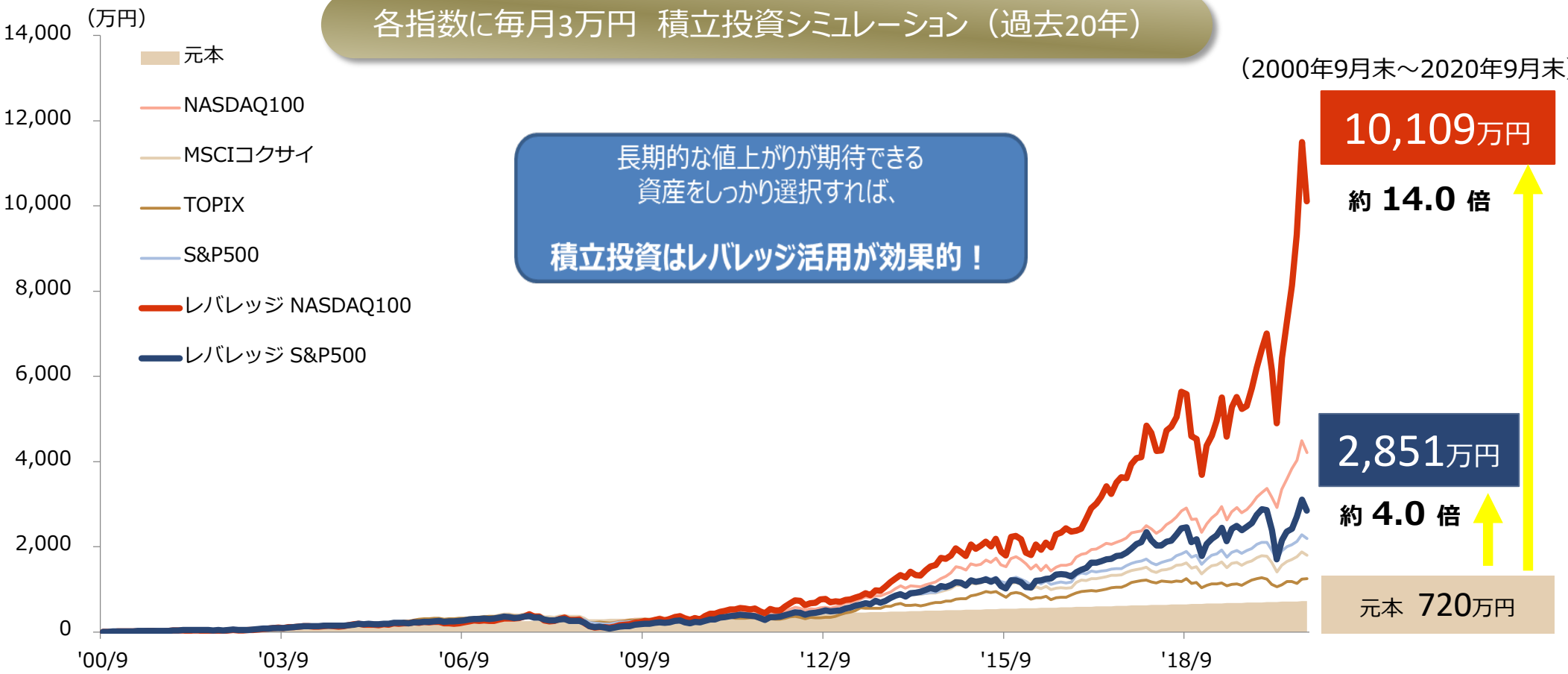


※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。
※参考指数（FANG+指数）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。参考指数は、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。
※資料作成時点において、分配実績はありません。

レバレッジ × 積立投資

各指数に毎月3万円　積立投資シミュレーション（過去20年）

（2000年9月末～2020年9月末）



※レバレッジ NASDAQ100：シカゴ・マーカンタイル取引所で取引されているNASDAQ100指数先物のレバレッジ2倍、レバレッジ S&P500：シカゴ・マーカンタイル取引所で取引されているS&P500指数先物のレバレッジ2倍（為替ヘッジを行なう商品性からどちらも米ドルベース、運用管理費用税抜0.9%控除後）　※その他資産は配当込み、外貨建てのその他資産はブルームバーグレートを利用して円換算。※上記はあくまで過去のデータを用いた検証結果を示したものであり、ファンドの実績ではありません。また、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーグのデータから大和アセットマネジメント作成

WHAT'S LEVERAGE ?

レバレッジとは？

「レバレッジ」とは、**「テコの原理」**を意味する言葉で、
小さな力（少額の資金）で大きなもの（大きな金額）を動かすことを言います。

大きな金額



少額の資金

レバレッジを高く設定することで、
少ない資金を効率的に使い大きな利益を狙えることがメリットですが、その分値動きは大きくなります。

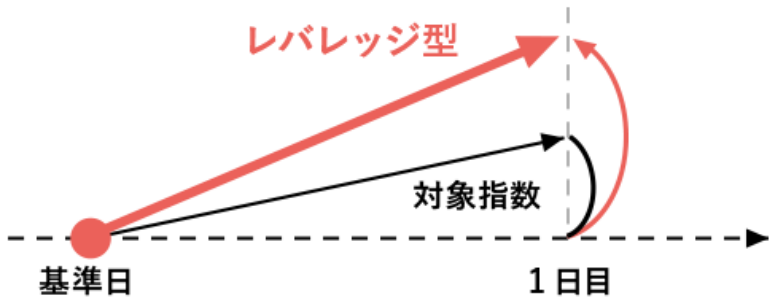
WHAT'S LEVERAGE ?

レバレッジ × ファンド

レバレッジ型ファンドは、**対象指数・相場の日々の値動きに対して**
2倍、3倍などのレバレッジをかけた運用成果を目指して運用を行なう投資信託です。

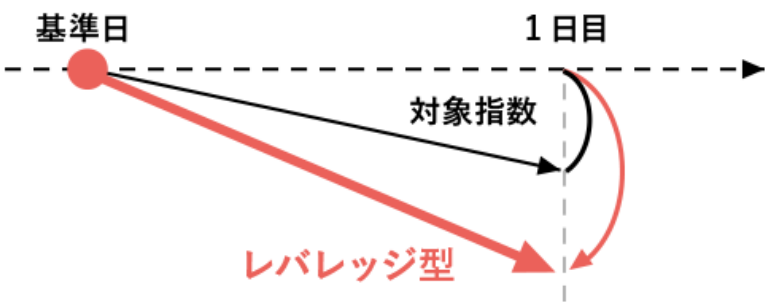
レバレッジ型ファンド（2倍）の値動きのイメージ

相場の上昇局面



レバレッジ型ファンドの基準価額は対象指数に対して2倍程度上昇

相場の下落局面



レバレッジ型ファンドの基準価額は対象指数に対して2倍程度下落

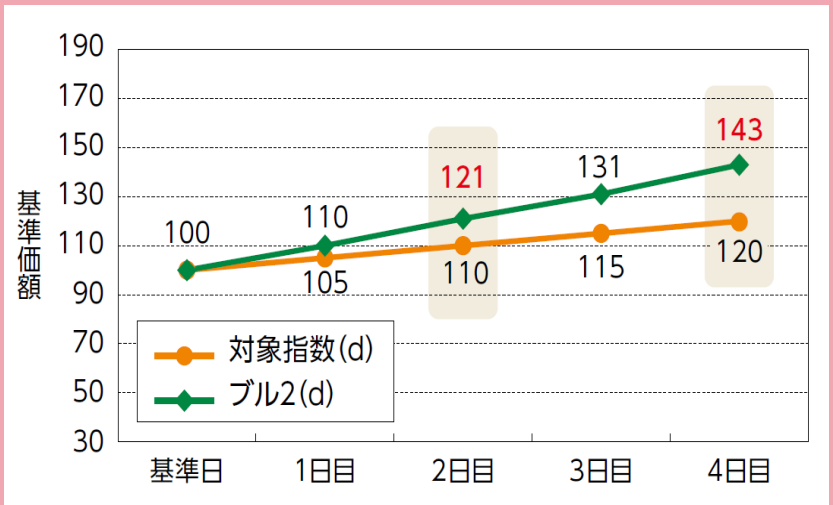
※上記はあくまでイメージであり、将来の成果を保証するものではありません。
※ファンド保有期間が2日以上の場合の投資成果は、通常「2倍程度」になるわけではありません。

Q&A

レバレッジのメリットとデメリットについて教えてください？

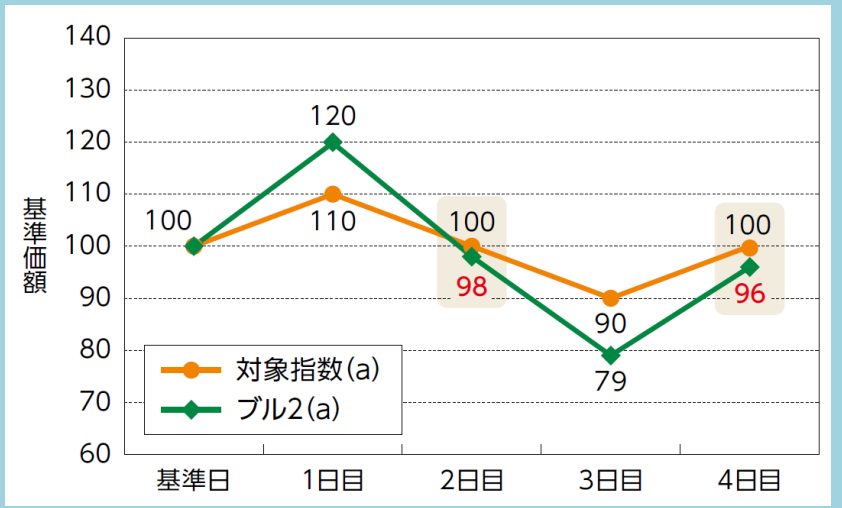
（日々の基準価額の値動きが対象指数の値動きの２倍程度となることを目指す場合）

メリット 上昇には強い



【解説】
対象指数が一方的に上昇し、4日目に「120」と+20%の上昇となった場合、レバレッジ2倍の当ファンドは+20%×2倍で+40%・・・とはなりません。複利のチカラが働いて+43%、「143」となります。

デメリット 横ばいに弱い



【解説】
「２日目」「４日目」において「対象指数」は「基準日」と同じ「100」ですが、「FANG+2倍ブル」はそれぞれの時点において「100」以下となっています。このように、「対象指数」が上昇・下落を繰返した場合には、「FANG+2倍ブル」の基準価額は時間の経過とともに押下げられることとなります。

※ 上記は、基準価額の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し簡略化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。
※ 上記はあくまでイメージであり、将来の成果を保証するものではありません。

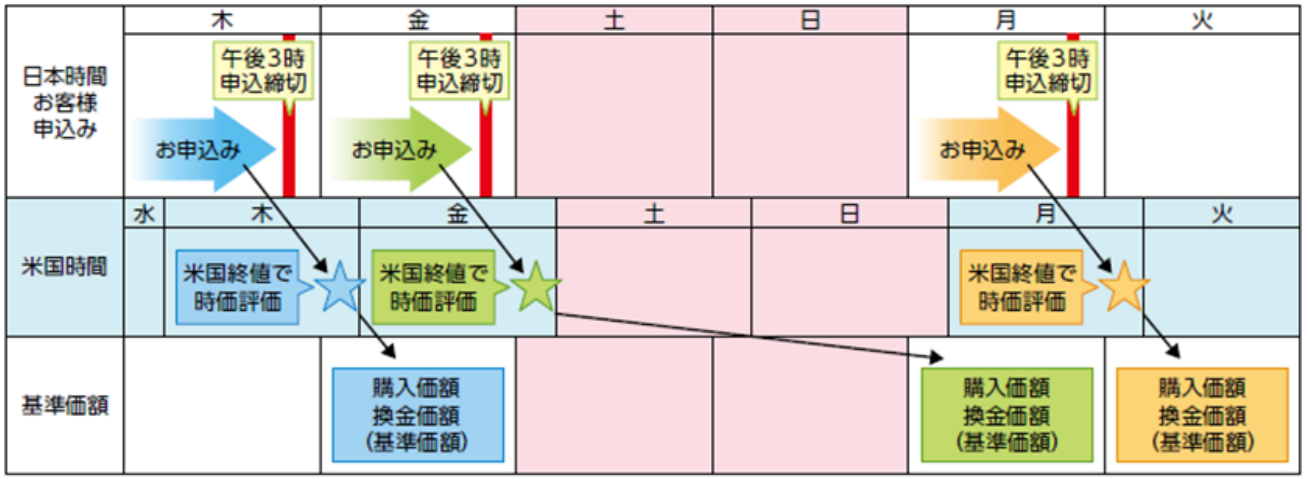
Q&A

購入・換金はいつの基準価額が適用されますか？

- 購入価額・換金価額は、申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
- 申込受付日の翌営業日の基準価額は、申込受付日と同じ日付の投資対象市場における市場価格など取得可能な直近の価格を反映しています。
- 申込締切時間の午後3時までに販売会社所定の事務手続きが完了しなかった場合、当日の申込受付とはなりません。
- 申込締切時間の午後3時までに事務手続きが完了せず翌営業日の申込受付となった場合、購入価額・換金価額は申込みをしようとした日の翌々営業日（申込受付日の翌営業日）の基準価額となります。

※販売会社によって申込可能時間が異なる場合があります。

［お申込みと基準価額のイメージ図］



指数について

《iFreeレバレッジ S&P500》
S&P500（以下「当インデックス」といいます。）は、S&P Globalの一部門であるS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJI」）の商品であり、これを利用するライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®は、S&P Globalの一部門であるStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが大和アセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行なわず、当インデックスの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

《iFreeレバレッジ NASDAQ100》
当ファンドは、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「株式会社」と総称します。）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 Indexの一般的な株式市況への追随可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行ないません。株式会社と大和アセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq®およびNASDAQ-100 Indexの登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、ナスダックが決定、構築および算出を行なうNASDAQ-100 Indexの使用を許諾することに限られます。ナスダックは、NASDAQ-100 Indexの決定、構築および計算に関し、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。株式会社は、NASDAQ-100 Indexとそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式会社は、NASDAQ-100 Indexまたはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行ないません。株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行なわず、かつNASDAQ-100 Index®またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

《iFreeレバレッジ FANG+》
NYSE® FANG+™は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社（以下「ICEデータ」）の登録商標であり、NYSE® FANG+™指数およびNYSE® FANG+™指数（円ベース）（以下「指数」）を利用するライセンスがiFreeレバレッジ FANG+（以下「ファンド」）において、大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。大和アセットマネジメント株式会社およびファンドは、ICEデータによってスポンサー、販売、または販売促進されているものではなく、ICEデータは、証券投資全般、特にファンドへの投資の妥当性について、または指数が一般的な株式市場のパフォーマンスを追随することについて、いかなる表明保証を行うものではありません。ICEデータおよびその第三者供給元は、明示または黙示の保証を行わず、インデックス、インデックスの値またはそれに含まれるすべてのデータに関して、商品性または特定の目的への適合性のすべての保証を明示的に否認します。ICEデータは、たとえそのような損害の可能性について、特別、懲罰的損害、直接的、間接的、または結果的損害（利益の損失を含む）に対する責任は通知されていたとしても一切負いません。

iFreeレバレッジ S&P500　　iFreeレバレッジ NASDAQ100

投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。
信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

- 株価指数先物取引の利用に伴うリスク
- 価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、債券の価格変動）
- 為替変動リスク
- カントリー・リスク
- その他（解約申込みに伴うリスク等）など

※ ファンド保有期間が2日以上の場合の投資成果は、通常「2倍程度」になるわけではありません。
※ 対象指数が上昇・下落を繰返した場合には、ファンドの基準価額は時間の経過とともに押下げられることとなります。
※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※ ファンドはレバレッジ運用を行なうにあたり先物取引を利用するため、借入金利に相当する負担があります。そのため、長期に保有する場合、金利負担が累積されます。
※ くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

追加的記載事項

日々の基準価額の値動きは、対象指数の値動きの「ちょうど２倍」になるとはかぎりません。その主な要因は次のとおりです。
イ.米国の株式市場の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差　ロ.株価指数先物取引の約定価格と終値の差　ハ.株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動　ニ.運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担　ホ.株価指数先物の流動性が低下した場合における売買対応の影響　ヘ.株価指数先物の最低取引単位の影響　ト.配当利回りと短期金利の差 ※将来の米国の金利水準によっては、さらに乖離が拡大する場合があります。
チ.為替変動により、株価指数先物取引の買建ての額を円に換算した額が、目標としている額から乖離することにより、目標とする投資成果が達成できない場合があること

ファンドの費用（消費税10%の場合）

■お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が別に定める率　＜上限＞ 2.2%（税込）
信託財産留保額	ありません。

■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して、年率0.99%（税込）
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

iFreeレバレッジ FANG+

投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。
信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

●価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、債券の価格変動）●株価指数先物取引の利用に伴うリスク ●パフォーマンス連動債券への投資に伴うリスク
●連動対象の指数に関するリスク ●為替変動リスク ●カントリー・リスク ●その他（解約申込みに伴うリスク等）など

※ ファンド保有期間が2日以上の場合の投資成果は、通常「2倍程度」になるわけではありません。
※ 対象指数が上昇・下落を繰返した場合には、ファンドの基準価額は時間の経過とともに押下げられることとなります。
※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※ レバレッジ運用を行なう先物取引やパフォーマンス連動債券への投資においては、一般に借入金利に相当する負担があります。そのため長期に保有する場合、金利負担が累積されます。
※ くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

追加的記載事項

日々の基準価額の値動きは、対象指数の値動きの「ちょうど２倍」になるとはかぎりません。その主な要因は次のとおりです。
イ.対象指数の値動きと、パフォーマンス連動債券が内包する担保付スワップ取引に起因するパフォーマンス連動債券の値動きとの差 ロ.対象指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差 ハ.株価指数先物取引の約定価格と終値の差 ニ.株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動 ホ.運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担 ヘ.株価指数先物の流動性が低下した場合における売買対応の影響 ト.株価指数先物の最低取引単位の影響 チ.配当利回りと短期金利の差※将来の米国の金利水準によっては、さらに乖離が拡大する場合があります。 リ.為替変動により、株価指数先物取引の買建ての額を円に換算した額が、目標としている額から乖離することにより、目標とする投資成果が達成できない場合があること

ファンドの費用（消費税10%の場合）

■お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が別に定める率 ＜上限＞ 2.2%（税込）
信託財産留保額	ありません。

■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して、年率0.9845%（税込） 投資対象とするパフォーマンス連動債券の運用管理費用が年率0.29%程度かかります。 実質的に負担する運用管理費用は年率1.275%（税込）以下 （実際の組入状況等により変動します。）
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

お申込みメモ①

※くわしくは各ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位	
購入・換金価額	申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）	
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。	
申込受付中止日	iFreeレバレッジ S&P500	①ニューヨーク証券取引所の休業日 ②シカゴ・マーカンタイル取引所の休業日 ③「委託会社の休業日かつシカゴ・マーカンタイル取引所が休業日でない日」の前営業日
	iFreeレバレッジ NASDAQ100	①ナスダック（米国）の休業日 ②シカゴ・マーカンタイル取引所の休業日 ③「委託会社の休業日かつシカゴ・マーカンタイル取引所が休業日でない日」の前営業日
	iFreeレバレッジ FANG+	① ニューヨーク証券取引所またはナスダック（米国）の休業日 ②「委託会社の休業日でありかつニューヨーク証券取引所またはナスダック（米国）の休業日でない日」の前営業日 ③ ①②のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日
	（注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせください。	
申込締切時間	午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）	
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。	
購入・換金申込受付の中止および取消し	● 次に該当する場合には、大和アセットマネジメントの判断で、購入、換金の受付けを中止または取消しにすることがあります。 ・株価指数先物取引のうち主として取引を行なうものについて、当該先物取引にかかる金融商品取引所等における当日の立会が行なわれないときもしくは停止されたとき。 ・株価指数先物取引のうち主として取引を行なうものについて、当該先物取引にかかる金融商品取引所等における当日の立会終了時の当該先物取引の呼値が当該金融商品取引所等が定める呼値の値幅の限度の値段とされる等やむを得ない事情が発生したことから、ファンドの当該先物取引にかかる呼値の取引数量の全部もしくは一部についてその取引が成立しないとき。 ● 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受付けを中止すること、すでに受付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。	
信託期間	無期限	

※くわしくは各ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

お申込みメモ②

繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること（繰上償還）ができます。 ・受益権の口数が30億口を下ることとなった場合 ・対象指数が改廃された場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき			
決算日	iFreeレバレッジ S&P500	毎年8月30日（休業日の場合、翌営業日）		
	iFreeレバレッジNASDAQ100	毎年10月18日（休業日の場合、翌営業日）		
	iFreeレバレッジ FANG+	毎年8月18日（休業日の場合、翌営業日）		
収益分配	年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）各ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせください。			
信託金の限度額	iFreeレバレッジ S&P500	5,000億円		
	iFreeレバレッジ NASDAQ100	5,000億円		
	iFreeレバレッジ FANG+	500億円		
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせください。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。			
受託会社	iFreeレバレッジ S&P500	株式会社りそな銀行	委託会社	大和アセットマネジメント株式会社 お電話によるお問い合わせ先： フリーダイアル　0120-106212（営業日の9:00~17:00） ホームページアドレス: https://www.daiwa-am.co.jp
	iFreeレバレッジ NASDAQ100			
	iFreeレバレッジ FANG+	三菱UFJ信託銀行株式会社		

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は大和アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。